

ファンダメンタルズに基づいた 投資で成功するための分類

2022/05/18

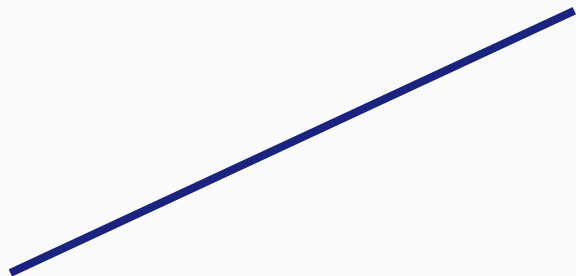
投資法		特徴	売買の注意点
バリュー	資産バリュー	<ul style="list-style-type: none"> 現金・土地・有価証券等に対して株価が割安 増配や被買収で上昇 企業価値と株価の差「安全域」を持つ 	<ul style="list-style-type: none"> 上がらない前提でなるべく安く買う 延々上がらないこともあるが、粘り強く持つ 上昇したら速やかに売る
	収益バリュー	<ul style="list-style-type: none"> 利益に対して割安（PERが低い） 配当利回りが高いことも多い 収益向上がきっかけで上昇 	<ul style="list-style-type: none"> 配当を得ながらじっと上がるのを待つ 業績の安定性・向上の可能性を見出す 妥当なPERになったら欲張らず売る
グロース	長期成長	<ul style="list-style-type: none"> 圧倒的な強さを持ち、成長を続ける PER等は必ずしも低くない 高いROEやROICが強さの源泉 	<ul style="list-style-type: none"> PERにあまりこだわらず買う 相場下落時に迷わず買う 買ったらずに持ち続ける
	急成長	<ul style="list-style-type: none"> 若い企業や変革企業で年 20%以上成長 PERは高いが成長がそれを正当化 成長率はいつか鈍る 	<ul style="list-style-type: none"> よほど割高でなければまず買ってみる 高成長が続く限り持つ 成長率が鈍化／株価が下がり始めたら売り
サイクル	シクリカル	<ul style="list-style-type: none"> 景気の影響を大きく受ける 産業の基礎を構成する企業が多い 投資タイミングの影響を大きく受ける 	<ul style="list-style-type: none"> 不況時に買い、好況時に売る 高PER時が買い、低PER時が売り サイクルをまたがないこと
	コモディティ	<ul style="list-style-type: none"> 資源価格の影響で株価が上下 10年単位のサイクルがあると言われる 資源価格上昇後、株価上昇 	<ul style="list-style-type: none"> 資源価格の動きを注視する必要がある うまくいけば莫大な利益 入るタイミングを誤ると大損

株価変動のイメージ

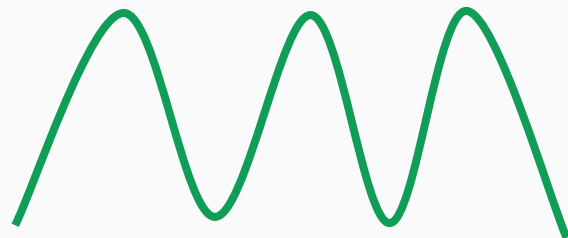
資産バリュー



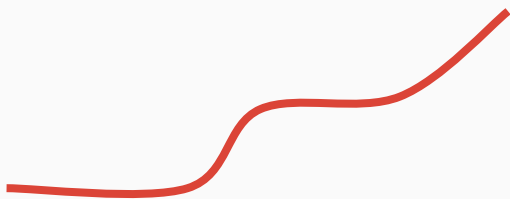
長期成長



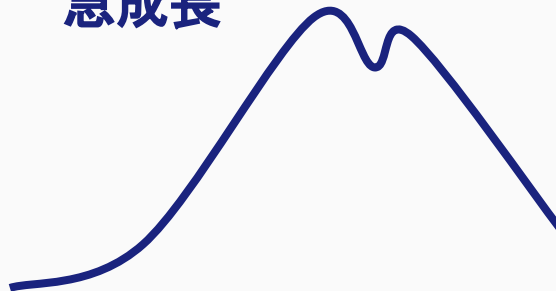
シクリカル



収益バリュー



急成長



コモディティ

